

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 定量的エピゲノム解析法の開発と細胞分化機構の解明
2. 研究代表者： 五十嵐 和彦（東北大学大学院医学系研究科 教授）
3. 中間評価結果

本研究課題は、定量的エピゲノム比較のための新技術を開発するとともに、この技術と質量分析などを組み合わせることで細胞分化機構の一端を理解することを目的とする。酵母 DNA-転写キメラを ChIP-seq の内部標準として使用可能なことを示し、定量性の高い解析法を開発したことは評価される。また、形質細胞の分化誘導機構とエピゲノムの理解につながる成果もあり、今後、疾患に関与するエピゲノム変化の同定および機能解明に貢献することが期待される。

本チームは、多数の研究機関と共同研究を行い、技術・材料・情報の交換をしながら効率よく研究を進めている。

今後、開発された新技法の有用性を自身の中心テーマで示すとともに、多方面の研究において実証し発信して頂きたい。本研究領域では疾患エピゲノム研究が多いので、本チームが簡便で信頼性の高い実験系を確立し、他の多くのチームの研究で活用されることを期待したい。

以 上